

『論語と算盤』

読書会



渋沢栄一が著した『論語と算盤』を読んで、
 私たちの「いま」を考える読書会です。
 2018～19年度の参加者を募集します。



渋沢栄一(1840-1931)は、約500社の企業の設立・育成に携わり日本近代経済の基盤を築いた一方、600余りの社会事業を手がけました。幅広い分野で活躍した渋沢は『論語』を行動の拠り所とし、『論語と算盤』という本を遺しました。近年では、『論語と算盤』の現代語表記本や現代語訳などが相次いで出版され、渋沢の思想から経営、仕事、人生のヒントを得ようとする関連書も多数出版されています。

渋沢栄一記念財団では2011年から『論語と算盤』の読書会を開催しています。講師に『現代語訳 論語と算盤』の訳者・守屋淳氏を迎え、毎回1章ずつ取り上げて少人数で内容をじっくり語り合います。11か月間の読書会終了時には、参加者一人ひとりがアドバイザーとなって『論語と算盤』の読書会を開けるようになることを目指します。『論語と算盤』の愛読者にも、これから読みたいという方にもご参加いただき、その経験を将来の仕事、教育、研究、生涯学習、人事研修、地域活動などに活かしていただけることを願っています。



講師 守屋 淳(作家)

1965年東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。大手書店勤務を経て、現在は中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『莊子』『韓非子』などの知恵を現代にどのように活かすかをテーマとした、執筆や企業での研修・講演を行う。『現代語訳 渋沢栄一自伝』『渋沢栄一の「論語講義」』(平凡社新書)、『現代語訳 論語と算盤』(ちくま新書)、『ビジネス教養としての「論語」入門』『最高の戦略教科書 孫子』(日本経済新聞出版社)など。ホームページ <http://chinese-classics.jp/>

- 日 程** 2018年9月～2019年7月 月1回 毎月第3水曜日 全11回
 2018年 ①9月19日 ②10月17日 ③11月21日 ④12月19日
 2019年 ⑤1月16日 ⑥2月20日 ⑦3月20日 ⑧4月17日 ⑨5月15日 ⑩6月19日 ⑪7月17日
- 時 間** 午後7時～9時
- 場 所** 渋沢史料館(東京都北区西ヶ原2-16-1 最寄り駅: JR京浜東北線/王子駅、東京メトロ南北線/西ヶ原駅)
- 定 員** 30名程度
- 参加費** 無料
- 内 容** 第1回…渋沢栄一と『論語』についての講義、渋沢史料館見学
 第2～11回…『論語と算盤』全10章から毎回1章ずつ取り上げ、参加者全員でディスカッション
- 対象者** 渋沢栄一や『論語と算盤』に関心があり、読書会での経験を仕事、教育、研究、生涯学習、人事研修、地域活動などに活かしていこうという具体的な目標をお持ちの方。原則、全回参加可能な方。
- お申込** 本紙裏面のお申込書に必要事項をご記入の上、メール、Fax、郵便で事務局までお送り下さい。応募人数多数の場合は、主催者側で参加者の選考を行います。

申込締切: 2018年8月27日(月)必着

お申込み・お問合せ(事務局)

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 研究センター

〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1

E-mail. researchcenter@shibusawa.or.jp

Tel. 03-3910-2314 Fax. 03-3910-2849

HP. <http://www.shibusawa.or.jp>